

# 財政基盤の強化に向けて行財政改革を推進します

本市の財政状況は、人口減少や少子高齢化の進行と、これに伴う地域経済の縮小による市税の減少をはじめ、人口を算定基礎とする地方交付税の削減に加えて、市立芦別病院や芦別振興公社への経営支援に伴う財政負担の増加等により、急激に厳しさを増しています。市では、毎年度、一般会計の収支不足額を市の貯金である財政調整基金や備荒資金組合超過納付金を取り崩して財政運営しているのが実態です。このままでは、近い将来、市の貯金が枯渇してしまうことが危惧され、危機的な状況に陥ることが懸念されています。

社会経済情勢や財政状況が厳しさを増す中、市民の福祉増進や市民生活の安心・安全を確保するための施策と、健全財政の堅持に向けた取り組みとのバランスを図りながら、身の丈に合った財政運営を念頭に、収支均衡型の財政構造へ転換する必要があります。

そのため、本年度を「財政基盤強化元年」と位置付け、喫緊の最重要課題として、行財政改革の取り組みを推進します。

このことにより、まちの将来に過大な負担を残すことなく、さらに市民の皆さんが住んで良かった、住み続けたいと感じていただける魅力と希望のあふれるまちとして持続するとともに、簡素で効率的な組織体制と時代の流れに迅速に対応できる機能性を有した市役所の構築を目指していきます。

このため、今後5年間の行財政運営と改革の基本方針を定め、これに伴う具体的な取り組みをまとめた実施計画を本年度中に策定します。

## 行財政改革により目指す姿

- 1 収支均衡型の財政構造を確立する
- 2 標準財政規模の10%以上留保資金(貯金)を確保する

一般会計の収支不足を補うために使える貯金は、平成28年度末で16億2千万円ほどありますが、平成29年度においても市民生活の安定向上を図るため、3億円あまりの取り崩しを見込んで、収支を調整しています。

しかし、このままでは、数年先に貯金が底をつくことが想定されることから、一層の行財政改革に取り組むことにより、当該年度の収入を量って、支出を抑制し、財政調整基金等の貯金を取り崩すことがなくてもやり繰りのできる、身の丈に合った財政運営を目指します。

また、災害等の不測の事態や市勢進展のために不可欠な施策展開への対応が必要となった場合であっても、安定的な財政運営に資するために、貯金は最低限、標準財政規模(※)の10%程度の規模を堅持することを目指します。

※標準財政規模…地方自治体の一般財源の標準的な規模を表す数値で、本市の平成28年度値は約62億9千万円。

### 芦別市行政改革推進委員会の委員を募集します

職務の内容	事務事業や公共施設の見直しなど、具体的な行政改革の取り組み等について、意見を述べていただきます。
募集定員	3人以内(委員総数18人以内)
募集期間	9月22日(金)まで
応募資格	①応募日現在で満18歳以上の方②市内に居住、または在勤、在学の方 ③応募日現在、本市の他の審議会などの委員を三つ以上兼ねていない方 ④応募日現在、本市の職員でない方
委員の任期	委員として決定した日から平成32年9月30日まで
会議の開催	年に5回を予定。平日の午後5時以降、2時間程度を予定
選考方法	選考委員会が書類選考により決定し、後日、本人に通知します
報酬など	市の制度に基づき、報酬および交通費を支給します
応募方法	所定の応募用紙に必要事項を記入の上、持参か郵送、またはファクシミリ、電子メールで行財政改革推進課行革推進係へ提出してください。電話および口頭では受け付けません。応募用紙は市役所1階「市民参加と協働コーナー」および行財政改革推進課行革推進係に備え付けているほか、市ホームページからダウンロードできます。 ○住所 / 〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市役所 ○ファクシミリ / 22-9696 ○電子メール / gyokaku@city.ashibetsu.hokkaido.jp



●問い合わせ／行革推進係 ☎22-2111